

お知らせ

第45回九都県市合同防災訓練(埼玉県会場)を開催します

問い合わせ 危機管理課防災・消防担当

埼玉県を含む九都県市(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市)は、首都直下地震などの被害を最小限にするために、九都県市相互の連携協力体制の充実・強化を図るとともに、住民一人一人の防災知識や減災への備えの向上を目指し、毎年、九都県市合同防災訓練を実施しています。

今年の埼玉県会場は日高市で、日高総合公園を会場として開催します。

※詳しくは、今後、広報ひだか、市ホームページ、県ホームページなどでお知らせします。

日時 10月20日(日)

午前9時～11時30分(防災フェアは午後1時まで)

場所 日高総合公園

内容(予定)

○機関係訓練

航空機などによる情報収集訓練、受援訓練、初期消火訓練、倒壊建物救出訓練、応急救護所運営訓練、土砂崩落救出救助訓練、ライフライン復旧訓練、火災防御訓練など

○防災フェア

防災関係車両の展示と体験搭乗、訓練ブース、体験ワークショップ、防災関係事業者によるPRブース、自衛隊カレーの炊き出し、音楽隊による演奏など

主催 埼玉県、日高市

後援 内閣府

実動訓練統括 埼玉西部消防局

参加機関 消防、警察、自衛隊、九都県市、防災関係機関、災害時応援協定機関、医療機関、自主防災組織ほか



お知らせ

下水道だより② ～企業債とは～



問い合わせ 下水道課業務担当 ☎042-989-2771

企業債とは、工事等に必要な資金を調達するための方法の一つであり、国等の公的資金、銀行等の民間資金からの借入れのことをいいます。

下水道管や処理施設等は長期に渡って使用していくことになるため、その工事に必要な資金を、その時の下水道使用者だけの負担とするのは、公平性の観点から望ましくないとされています。

そのため、企業債を借入れて資金を調達し、毎年度返済していくことで、工事時点の一時の負担とせず、世代間の負担の公平を図るという目的があります。

これは、平成15年度以降、5年ごとの決算における、年度末時点の企業債残高です。

企業債残高の推移

(単位：千円)

決算年度	平成15年度	平成20年度	平成25年度	平成30年度	令和4年度(直近の決算)
年度末残高	9,106,860	8,172,164	6,601,448	5,926,818	5,362,272

毎年度、工事等の資金調達のために借り入れている状況ではありますが、下水道事業開始の頃に借り入れた高額の企業債の返済が終了し始め、企業債の残高としては減少している傾向にあります。

下水道事業の将来を見据え、老朽化した下水道管や処理施設等を計画的に更新していくためにも、今後も借入れと返済のバランスを取りながら、適切に企業債を活用していかなければなりません。

なお、企業債の元金返済は、主に下水道事業の内部留保資金や毎年度の純利益の積立金を、利息の支払いは、主に下水道使用料を財源としています。引き続き、安定した下水道事業の経営を目指して取り組んでいきます。

詳しくは、市ホームページをご覧ください。